

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號二第 卷二第

論說

●戸數割及戸別割ヲ論ズ

法學博士 神戸 正雄

●戦後ノ米國ニ於ケル歐洲移民運動ト日本移民問題(一)

講師 米田庄太郎

●民族の自覺ト植民地土民ノ教育

助教授 山本美越乃

研究

●不換紙幣ノ價格ニ就テ

法學博士 戸田 海市

●大藏省證券ノ割引歩合ニ就テ

法學士 三木 純吉

●保險學說ノ發展(二完)

法學士 小島昌太郎

雜錄

●中田公直氏遺著「佐藤信淵ノ農政學說」

同志社大學教授 瀧本 誠一

●米ノ生産費ニ就テ

助教授 河田 嗣郎

●商業道德ト時勢ノ變

法學博士 神戶 正雄

●家庭ニ關スル新統計調査例

教授 財部 靜治

●中歐經濟同盟說ニ就テ

法學博士 小川 郷太郎

●幼兒死亡ト貧困

法學博士 河上 肇

●米國ニ於ケル各國移民ノ消長

助教授 山本美越乃

●小國ノ將來

講師 高田 保馬

●紹介——祖國ヲ顧ミテ(河上博士著)孤立國(谷井法學士譯)蘇峰文選(徳富猪

一郎著)

小國ノ將來

講師 高田保馬

經濟的繁榮ト平和的精神ト民本的傾向ト薄弱ナル軍備トイ同
時ニ其特徴トナシタル白身義ハ一派急進主義者ノ謳歌ノ對象
トナリ眞ノ文明的國家ハタダ小國トシテノミ實現セラルルニ
非ズヤト考ヘラレタリキ。然ルニ一たび全歐ノ大動亂起ルヤ

此小國ノ領土ハ獨軍馬蹄ノ蹂躪スル所トナリ、他ノ小國塞耳
縫ヲ滅亡ニ垂ントス。今日ノ時代ニ於テ小國ハ遂ニ存立ス
ルノ力ナキカ、存続ス可キハタテ武斷の大國家ノミナルカ。此
問題ニ關スル一答解 (Gaston Richard L'aveuir des petits
états d'après les lois sociologiques. (Revue internationale
de sociologie. Avril 1915.) ノ大意ヲ紹介セント欲ス。

小國ノ眞價及ビ其將來如何ニ關シテ吾人ハ二個
ノ反對セル教説ヲ有セリ。其一ハ Ratzel ニヨリ
テ、他ハ Conte ニヨリテ與ハラレタリ。Ratzel ノ考
フル所ニ從ハンカ。今日ノ文明國ハ之ヲ其面積
ノ見地ヨリ見テ二ニ大別スル事ヲ得可シ。其一
ハ面積ノ大ナルモノ、其二ハ面積ノ小ナルモノ
ナリ。此面積ノ如何ハ決シテ些細ノ開却ス可キ
事情ニ非ズ、面積ノ大小ノ意識ハ國民勢力ノ張
弛ニ重大ナル關係ヲ有ス。大面積ノ國家ハ自ラ
コレ、面積ヲ増加セシメントスル傾向アル國家
ナリ。國家ヲ發展セシム可キ一切ノ力ノ緊張一
般的刺激ハ常ニ此大面積ノ意識ヨリ來ル。小面
積ノ國家ハ絶對的又ハ相對的ニ面積減少ノ傾向
アル國家ナリ。速ナル人口増加ニ對シテ限ラレ
タル僅少ノ面積ヲ有スルノミニシテ、擴張ノ希

望ハ四周ノ事情ニヨリ全然阻止セラレ居レリ。
Andorre 共和國 Lichtenstein 公國ガ如何ニシテ
其境界ヲ擴ゲントノ希望ヲ抱キ得可キヤ。カク
テ、ソハ自ラ停止的減衰的ナリ。唯一ノ希望ハ他
ノ強國ニ併合セラレズシテ其獨立ヲ保ツト云フ
事ニアリ。而シテ中立以外ニ獨立ヲ保ツ良方法
ヲ知ラズ、而モ中立トハ無力ノ告白ニ非ズシテ
何ゾヤ。大面積ノ國家ニ至リテハ全ク之ト趣フ
異ニス。面積ノ大ハソレ自體既ニ國民勢力ノ興
奮劑ナリ、權力ノ欲望ノ刺激劑ナリ。地上ニ於テ
既ニ廣キ面積ヲ占有ストノ意識ヲ有スル國民ハ
更ニ廣キ面積ヲ獲得セントスルニ至ル可ク、カ
クテ、遂ニ其野心ヲ制限スル一切ヲ擊破スル時
アラン。而シテコレ小國ガ其最終ノ運命ニ到達
セル時ナル可キナリ。勿論小國モ或利益ヲ伴フ
公共的精神ヲ早ク成熟セシムル事はナリ。然レ
ドモ、其缺點ハ極メテ大ナリ。人々小面積ニ集中
スル時、外部ニ向ヒテノ發展ノ阻止セララル時
ココニ、國民ノ勢力ハ發動ノ機會ナキガ爲ニ減
少スルノミナラズ、殘存スル勢力モ惡方向ニ使

用セラル、即チ、小國ハ最モ激烈ナル政争ノ舞臺ナリ。一切ノ努力ハ此小國ヲ支配セントノ野心ニ向ケラレ、哀ム可キ地方的精神ハアラユル能力ヲ麻痺セシム。

Ratzelノ意見ノ發表ニ先ツ事半世紀(Comteハ近世史ヨリシテ大國家崩壞ノ法則ヲ歸納シ得可シト信ジタリ。彼ニヨレバ Nationハ眞ノ祖國)ハ、^三モタル能ハズ、近代人ニトリテ眞ノ祖國ト云フ可キモノハ古代ノ市民ニ於ケルガ如ク大ナル郊外ヲ併セタル都市ニ外ナラズ。平和の産業的ナル社會ニ於テ現代國家ノ廣サノ標準ヲ示セルモノハ和蘭ナリ。nationalityハ都市ト人類團結トノ間ノ過渡的段階ニ過ギズ、其一時の役目ヲ終ヘタル後消滅シ去ル可キモノナリ。文藝復興ト宗教改革トニヨリテ生ジタル近代の危機(舊教の統一ノ瓦解)ノ間ニ於ケル著シキ事變ハ既ニ將來ニ於ケル大國家ノ崩壞ヲ豫示セリ。宗教改革ヨリ直接間接ニ起レル革命ガ既ニ分離ヲ誘導シタルヲ見ヨ、例ヘバ和蘭ノ獨立、北米合衆國ノ獨立ノ如キコレ也。カカル事實ヲ概化セシムル

時ハ大國家崩壞ノ法則ヲ得可シ。佛蘭西ヲ始メ眞ニ創始的ナル國家ハ先ツ自發的ニ分解スル使命ヲ有ス。此ノ如ク說イテ彼ハ實ニ佛蘭西ノ地圖ノ上ニ十七ノ共和國ヲ畫キタリ。彼ノ社會學的分析ハ一見歐洲永遠ノ平和人道教ノ確立ト云フ二ノ utopieニ緣由ナキニ非ザラン、而モ彼ハ論據ヲ國家分裂ノ史實ノ上ニ置ケリ。果シテ戰爭ニヨリテ生ジタル大國家ハ平和ノ時代ニ耐フル能ハザルヤ、るとするののおハ其政治進化論(Letourneau, Evolution politique)ニ於テ同一ノ結論ニ達シタリ。

二氏ノ學說ハ共ニ歴史ト經驗トノ名ノ下ニ提示セラレナガラ、正ニ反對ノ方向ヲトリ、政治學上ニ於ケル二律背反ヲ形ヅクレリ。吾人ハ此何レヲ取ル可キヤ、若クバ之ヲ超越スル事ヲ得可キヤ。

Ratzelノ地理學的帝國主義ハ Comteノ力說シタル分裂ノ法則ニ背ク。大帝國ハ不安定ナル政治的所産ナリ、而シテ現代ニ近ヅク程分裂ノ法則ガ大帝國ノ形成及ビ存續ヲ妨グルヲ見ル。

せどにあ、ろおま、あらびあ、かあるりんぢやん
帝國、もおがる帝國、すべいん帝國、おつとまん
帝國、なほれおん帝國皆此法則ニヨリ分裂シ、分
裂ノ勢ハ文化ノ進ムニ連レテ救ヒ難キニ至ル。
十年ノ間ニ興リテ亡ビタルなほれおん帝國ヲお
つとまん帝國もおがる帝國ニ比較セヨ。然レド
モ Comte ノ結論モ亦道德的觀察歴史の徴檢ノ二
點ヨリ容ス可キニ非ズ、nationalism ト patriotism
トガ相容レズト云フモノ既ニ認ム可カラザルノ
ミナラズ、近代ニ於テ大國家ガ常ニ且ツ到ル所
ニ於テ分裂ノ危險ニアリト云フモノ甚ダ精密ナ
ラズ。彼ガ其說ヲ發表シタル一五五三以來伊太
利獨逸ノ如キ大國家ノ形成米國南北分裂ノ失敗
一八七一佛蘭西革命ノ如キ皆大國家ノ團結力ヲ
示セルモノナリ。

然ラバ大國家ノ或ハ分解シ、或ハ多數ノ公國共
和國ヲ併合スル事ヲ如何ニシテ説明ス可キヤ。
おつとまん帝國ノ瓦解スルニ當リ、伊太利ノ復
活シマタ塙匈國ノ確立セラレタル事ヲ思ヒ見
ヨ。大國家ハ強キ國家ガ弱キ國家ヲ蠶食スル事
ニヨリテ成立セズマタ大國家ハ人道教ノ要求ニ
ヨリテ瓦解スルニ非ズ。事實ハ極メテ簡單ナリ。
近代國家ノ唯一動力ハ民族性ノ力ナリ。其言語
文化ノ連續、利害ノ一致ヲ意識セル一民族ガ數
多ノ小國家ニ分離又ハ分屬セル場合ニハ自ラソ
ハ單一國家ヲ形成スルニ至ル(伊太利、塞耳維)。
之ニ反シ言語宗教的知的傳説經濟の利害ヲ異ニ
セル數多ノ民族ガ強制ノ力ヲ以テ無理ニ一大帝
國ノ支配ノ下ニアル場合ニハ、國民性ハ大帝國
ヲ分解セシメテ小帝國ヲ建設セズバ止マズ。お
つとまん帝國然リキ、塙匈國亦然ラン。云フ迄
モナク政治學的の法則ハ自然法則ノ如ク嚴密ノモ
ノニ非ズ、所謂傾向律ナリ。國家ノ存立ト民族性
ノ要求トノ關係亦然リ。民族性ノ複雑ハ國家殊
ニ大國家ノ存立ト相容レザルモノナルカ。相容
レズト答フルハ非ナリ。例ヘバ瑞西ヲ見ヨ、三
民族ハ聯邦國家ヲ形成シテ事實上ノ調和ヲ示セ
ルニ非ズヤ。タダカカル多數ノ民族ヲ一國家ノ
下ニ統一セシメタル處理ハコレ政治術ノ傑作ニ
シテ容易ニ成效シ得可カラザルナリ。

みるニヨレバ政治的自由ハ複合國家ノ早晚蒙ル可キ試鍊ナリ。同質の國家一民族ヨリ成ル國家ニ於テモ既ニ國家ノ權力ト代議政體トヲ一致セシメン事ハ困難ナリ。然レドモ、輿論ノ根原ガ單一ノ民族性ニアル時ハナホ可ナリ、議院内ノ反對ガ民族性ノ反對ニ本ヅク時ハ策ノ施ス可キ所ナカラン。然ラバ一切ノ帝國主義的政策ニ對スル障礙ハ民族的自律ノ原理即チ民族性ノ力ナリト云ハザル可カラズ。過去ニ於テモ此原理ハ常ニ帝國主義ノ成效ヲ瞬間的ナラシメ、直ニ分裂ヲ生ゼシメタリ。カクテ一見民族的自律ハ人類結合ノ範圍ヲ狭クシ、團體的利己主義ヲ助長シ、世界的協働ノ成立ヲ妨クルニ似タリ。然レドモ、らてん、ゆるまん、すらぐ等ノ比較研究ニ見ルニ、民族性ノ始メテ著シク作用シタルハ *gens* ノ團結弛ミ國家ガ從來ノ道德的傳説社會的情緒ノ中ニ於ケル其支柱ヲ失ヘル時ニアリ。カクテ民族性ハココニ國家ヲ生メリ。之ナクバ國家ナクシテタダ無政府ノ状態アリシナランノミ。而シテ之ヨリ後、歴史ハ民族ト國家トガ互ニ相合スル

ヲ示セリ。國家ハ法的形態ナリ、民族性ハ之ニ包マルル内容ナリ。同一民族ヲ包含スル國家ハ困難ナクシテ成立シ存續ス。數多ノ民族ヲ包括スル國家ハ早晚分裂ニ向フモノナリ。